

第4回日本語サマープログラム2016

★★★★Q&A★★★★

★★参加資格について★★

Q 男子学生も参加できますか。

A 男子学生も参加可能です。

ただし、本学は、女子大であるため、女子学生のみ学生寮に滞在可能です。

Q どのくらいの日本語レベルの学生が参加できますか。

A 今回の参加条件は、JLPTのN2~N4です。N4以下の方や初心者は、参加できません。

JLPTに合格していなくても上記日本語レベルがある場合は参加可能です。

★★申込みについて★★

Q どのように申し込みますか。

A 各校ごとに5名の学生を選抜し、日本語サマープログラム事務局(j-summer@ocha.cc.ac.jp)に教職員が一括してお申込みください。各校で選抜の上、可能な限り学生の選抜順位をお知らせください。学生個人の申し込みはできません。

Q 定員は、各校5名以内と決まっていますか。

A 各校5名以内です。2016年4月8日(金)以後に応募動機書、成績証明書、各校の選抜順位等を基準に選抜し、参加学生を4月末までに通知します。

ただし、申込者数が定員40名を超えない場合は、5名以上も受け入れが可能になる場合もございます。事前に日本語サマープログラム事務局(j-summer@ocha.cc.ac.jp)にご相談ください。

★★提出書類について★★

[申込時]

Q 最新の成績証明書は、メールで送りますか。

A PDFファイルなどで日本語サマープログラム事務局(j-summer@ocha.cc.ac.jp)に送るとともに、2016年4月8日(金)日本時間午後5時までに原本も下記に郵送してください。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学学生センター棟307室
日本語サマープログラム事務局 酒井

[参加決定後]

Q 参加決定後に何を提出しますか。

A 海外旅行保険証書コピー、宿泊申込書、各日本文化体験申込書を4月末~5月に提出することになります。宿泊申込書、各日本文化体験申込書は、参加者が決定後お送りします。海外旅行保険には、参加決定の通知が本学から届き次第、各自でご加入ください。

Q 参加決定後に送る海外旅行保険証書コピーは、〇〇語で書かれていてもいいですか。

A 日本語または英語訳が付いているものを送ってください。

★★プログラム内容・授業について★★

Q クラスは、いくつありますか。

A 2016年度のクラスは、参加者数などによって増減します。

2015年度は、JLPTN4レベル、N3レベル、N3~N2レベルの3クラスでした。残念ながら、日本語を全

く学んだことがない方や上級の方向けのクラスは、ございません。

Q 授業でどのようなことを学びますか。

A 1時間目は、日本語能力レベル別のクラスです。聞く、話す、読む、書くといった4技能をバランスよく伸ばすことを目的とした日本語の授業です。

2時間目は、全レベル合同で本学の日本人学生と協働でプロジェクトワークを行います。そのためのスキルを学び、テーマを設定し、日本人学生と意見交換、調査、レポート作成、プレゼンテーションも行います。調査やレポート作成等は授業時間外にも行います。

★★宿泊について★★

Q どこに宿泊できますか。

A 女子学生は、本学の国際学生宿舎に宿泊できます。大学まで電車と徒歩で約40分、寄宿料、光熱費、布団代など総額15,000円くらいです(<http://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/>)。男子学生は、職員寮(若干名、大学まで徒歩3分、総額40,000円くらい)または民間の宿泊施設の手配となるため、女子学生に比べて宿泊料が割り高になります。いずれもサマープログラム期間のみの利用で、食事の提供はありません。なお、上記は、変更になる可能性がございます。個人で宿泊施設を探していただくことも可能です。

★★その他★★

Q どのような日本文化体験ができますか。

A 講師による浴衣着付け教室や生け花教室を予定しています。その他に2015年度同様に茶道部、箏曲部、剣道部など多様な部活やサークルの見学・体験を検討中です。

2015年度の様子は、<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/58126> の107ページ以降をご覧ください。

Q 空港にどなたか出迎えに来てくれますか。

A 現段階では未定ですが、日本人学生ボランティアによる出迎えを予定しております。ただし、早朝や夜間(午後6時以降)の出迎えは、控えさせていただく予定です。参加決定後に各出迎え担当の日本人学生ボランティアと相談していただきます。

Q 日本人学生と交流の機会がありますか。

A 日本人学生は、授業受講者またはボランティアとして参加します。授業では、ともに学ぶ学習者として多文化間交流を推進します。協働でプロジェクトワークに取り組んだり、お互いに助け合ったりすることで良き友人関係が築けます。

2015年度は、本学の授業受講者やボランティア以外に附属高校の学生や本学のサークルメンバーとの交流がありました。

Q 日本に初めて行くので不安です。

A 日本滞在中は、スタッフ、学生ボランティア、バディがサポートします。

2015年度は、参加者と本学の学生がバディとなりました。お互いの言語を教え合ったり、日本滞在中の生活サポートをしたり、一緒に遊んだりしていました。2015年度の様子は、<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/58126> の139ページ以降をご覧ください。日本語サマープログラム後も本学の学生が参加者の国を訪問したりするなど、友好関係は継続されています。